

掲示板

太極拳・中国語・中国の歴史の名講座

日中友好のための市民講座を開設します。期間は1月～3月で、会場はいずれも一関市民館です。
◆開校日…【太極拳講座】第1・2・3回⑩18:30～20:00【中国語講座】第1・2・3回⑩14:30～16:00【悠久5000年中国の歴史講座】第4回⑩18:30～20:00
◎問い合わせ先…日本中国友好協会一関支部・島貫☎25-4167

シニアスキー教室

初心者から上級者までどなたでも参加できます。安全で楽しいスキー技術の講習を行います。
◆日時…1月16日⑨9:30～15:00
◆会場…まつるバスノランド
◆対象…男性55歳、女性50歳以上
◆受講料…2000円(リフト・昼食代別途)
◆講師…全日本スキー連盟公認指導員が技術に応じて班別に講習します。
◆受付期限…1月11日⑩
◎問い合わせ先…まつるペゴールドスキークラブ・古川☎24-2442または鹿野☎24-2388

第3回”夢・未来”子ども文化祭

小・中学生や少年少女発明クラブの力作の数々。舞踊、ダンスなど子供たちの熱演をご覧ください。いずれも入場無料です。
【展示部門】
◆日時…1月22日⑩10:00～17:00、23日⑩9:00～16:00
◆会場…一関文化センター展示室
【舞台部門】
◆日時…1月23日⑨9:30開会
◆会場…一関文化センター大ホール
◎問い合わせ先…一関文化センター☎21-2121

舞草刀研究会新春名刀鑑賞会

◆日時…1月30日⑩13:00～16:00
◆会場…一関市総合防災センター3階大会議室
◆内容…刀剣にじかに触れ、姿、鍛え肌、刀文、帽子、茎を鑑賞。参考刀7振り、鑑定刀5振り。お楽しみ鑑定入札(上位入賞者に景品があります)
◆刀剣の手入れ…当日会場にて、無償で手入れします。大切な文化財を後世に残すため、刀剣をご持参ください。
◆参加料…無料
◎問い合わせ先…舞草刀研究会事務局・佐藤☎28-2370

すりさわYosakoiまつり

響く鳴子、翻る旗、心躍る躍動感を体感してください。総勢18団体がそれぞれの持ち味を生かし、皆さんを魅了します。
◆日時…1月30日⑩10:15～16:30
◆会場…大東コミュニティセンター「室蓬ホール」
◆その他…駐車場には限りがあります。バスやJR大船渡線をご利用ください。
◎問い合わせ先…大東Yosakoi恋・来い連「菅原組」・牧野☎75-3186

喜多流「一関信誼会」新春小謡講習

謡は日本古来の伝統芸能である「能」の大切な役割を担う発声部門です。皆さんで「高砂」「養老」「老松」などを勉強してみませんか。腹式呼吸による発声で、健康やストレス発散にもつながります。
◆日時…2月1日⑩～4日⑩19:00～21:00
◆会場…真泉コミュニティセンター
◆講師…喜多流 謡教士 高橋英さん
◆受講料…3000円(資料代など)
◎問い合わせ先…一関信誼会事務局・小山☎25-4017

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
 次回2月1日号の締め切りは1月7日⑩です。
 詳しくは、本庁秘書広報課広報係☎21-8182へ。

遊んで伸ばす子供の運動能力

体を使ったさまざまな遊びや運動を通して、子供の成長や発育に役立つコーディネーショントレーニングの方法を学び、運動能力の向上を目指しましょう。
◆日時…2月5日⑩【講座】10:00～11:30【実技】13:30～15:00
◆場所…一関市総合体育館(ユードーム)
◆対象…指導者、保護者、教員、スポーツ愛好家、ジュニア
◆参加料…無料
◆定員…【講座】60人【実技】150人
◆講師…JAM代表修造チャレンジコーディネーション担当佐藤雅弘氏
◆受付開始…1月4日⑩8:30～
◎問い合わせ先…一関市総合体育館☎31-3111

たこ作り教室・子供手作りたこ揚げ大会

手作りたこを元気いっぱい大空高く揚げよう！温かいおやつもあります。
【やさしいたこ作り教室】
◆日時…2月5日⑩13:00～16:00
◆場所…一関文化センター小ホール
【子供手作りたこ揚げ大会】
◆日時…2月6日⑩13:00～14:30
◆場所…磐井川河川公園(山目側)
◆内容…手作りたこ揚げコンテスト(デザイン賞、高度賞、ファミリー賞)
【共通】
◆対象…園児・小学生とその家族
◆参加料…無料
◆申し込み…1月31日⑩までにはがきまたはファックスで住所・氏名・学校名・学年・保護者名を記入の上、申し込みください。
◎問い合わせ先…一関ライオンズクラブ事務局☎021-0031一関市青葉1-5-2☎/FAX23-4445



風情に満ちた有明行灯。左は台箱の上に乗せられた姿、右は台箱に納められた姿

私たちが日常使用している電気のあかりは、1879(明治12年)年にエジソンが電球を発明して以降に急速に普及したものです。しかしそれ以前の数万年にわたっては、火があかりとして使われてきました。人類の火の使用はたき火から始まり、やがてその火を自由に扱う便利な道具として灯火具が生まれて、人間生活の中で営々とあかりを灯してきました。
 日本では菜種油やろうそくが庶民にまで普及した江戸時代に、さまざまな灯火具が登場しました。行灯もその一つです。行灯はもともと携行する灯(あかり)という言葉からきたもので、室町時代には使われていました。行灯は和紙で覆われた火袋の中で、油に浸した灯芯があかりを灯したものです。やがて行灯が室内専用に使われるようになった江戸時代には、多様な種類の行灯が生み出されました。
 有明行灯は、便利で風情に満ちた行灯です。通常は台箱の上に乗せられて広くあかりを照らしますが、就寝時には火袋を台箱に納め、なお、あかりは灯されます。台箱はふたとなつて、窓からこぼれる出る満月や三日月のあかりが終夜演出する趣向です。
 十六夜の頃に、夜が明けてなお空にある有明の月に見立ててこの名があります。和紙を通して日本人のもつ繊細さが見えてくるでしょう。

博物館 だより

Ichinoseki City Museum

日本の伝統的な灯火具 有明行灯

35

市長のお仕事百景 No.7 一関市長 勝部 修

■11月21日 「楽しむ科学教室」は高エネルギー物理学研究機構長の鈴木厚人氏を講師に、「素粒子で宇宙-物質を覗く」をテーマに開催。高校生の科学への関心の高さにあらためて驚きました。ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊先生にもおいでいただきました。「若い人たちが熱心に話を聞いてくれてうれしいネ」と小柴先生。

■11月25日 一関市民号第2班が出発。130人の市民の皆



さんと二泊三日の紅葉の京都めぐりです。紅葉真っ盛りの清水寺では、参道は観光客で身動きができないくらい混雑。夕方の紅葉も美しいですね。平泉も世界遺産に登録されればこのような混雑になるのでしょうか。

■12月4日 市民芸能まつりの後、室根で保健福祉医療の丘大会。高校の後輩にあたる藤野静枝さんの腹話術に皆さん大爆笑。私のあいさつも「笑顔」について触れました。「顔は自分のものですが、笑顔は相手に差し上げるものです」。

■12月10日 市議会定例会が閉会。補正予算とともに藤沢町との合併関連議案も

原案通り可決になりました。藤沢町議会も同日に合併議案を可決。閉会にあたり、「反対意見を尊重し、最大多数の意見を集約して最大多数の幸福を実現するため虚心坦懐に施策を実行していくのが私の責務」と挨拶しました。

■12月14日 産業振興会議を立ち上げ、産業間連携による効果的振興策策について諮問しました。幅広い産業連携での話し合いの場での活発な議論を期待します。一関信金とがん検診受診率向上の協定を結びました。栗原市など周辺地域を含めて取り組んでいる一関信金の取り組みに感謝しています。

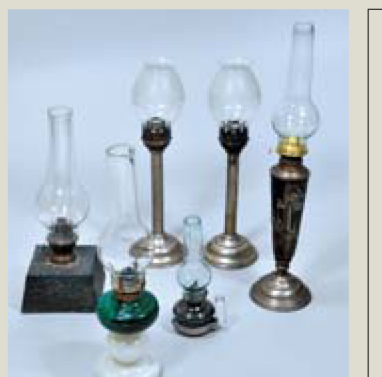
一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp

* 講座などの申し込みは、電話で先着順

■日時：1月9日⑩10時～15時の間(所要時間約1時間) ■対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) ■定員：50人※事前申し込み不要 ■参加料：50円 ■持ち物：なし。汚れてもいい服装でおいでください。

和紙を染めてみよう

■日時：1月22日⑩13時30分～15時 ■講師：酒井宗孝さん(花巻市博物館 学芸員) ■定員：36人・電話で申し込み



テーマ展「あかり」